



平成 20 年 4 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社 シベール
代表者名 代表取締役社長 熊 谷 眞 一
(J A S D A Q ・ 証 券 コ ー ド 2 2 2 8)
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 佐 島 清 人
電 話 0 2 3 - 6 8 9 - 1 1 3 1 (代 表)

(修正) 平成 20 年 8 月期 第 1 四半期財務・業績の概況 (非連結)

及び月次売上高速報値の修正に関するお知らせ

当社は従来、百貨店における当社店舗の売上高については、契約上は当社が商品を百貨店に販売する形態をとりながら、実態として当社が直接顧客に販売していることから、顧客の購入金額を売上高として計上し、当該金額と百貨店から当社に支払われる金額との差額を賃借料として販売費及び一般管理費に計上しておりました。

今期において、百貨店への出店を進め百貨店との取引金額が増加してきたことから、百貨店との契約内容に鑑み、本日開催の取締役会において、平成 20 年 8 月期より、百貨店への納入金額をもって売上高に計上することと致しました。従いまして、本日発表の平成 20 年 8 月期 中間決算短信 (非連結) は、追加情報に記載の通り、売上高の会計処理の変更を行なっております。

これにより、平成 20 年 1 月 15 日発表の平成 20 年 8 月期 第 1 四半期財務・業績の概況 (非連結) 及び毎月発表している (平成 19 年 10 月 1 日より平成 20 年 4 月 1 日までの各月初) 月次売上高速報を下記の通り修正致します。なお、当該修正によって売上高は減少致しますが販売費及び一般管理費が同額減少するため損益に影響はございません。

又、平成 19 年 8 月期決算につきましては、当該変更を行なったとしても、その金額が重要性に乏しくかつ損益には影響がないため修正を行ないません。

記

I. 平成 20 年 8 月期 第 1 四半期財務・業績の概況 (非連結) の修正

1. 平成 20 年 8 月期第 1 四半期の業績 (平成 19 年 9 月 1 日～平成 19 年 11 月 30 日) (P 1)
《修正前》

(1) 経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期 (当期) 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20 年 8 月期第 1 四半期	885	(1.3)	△ 4 (-)		△ 11 (-)		△ 14 (-)	
19 年 8 月期第 1 四半期	874	(9.3)	12 (-)		3 (-)		△ 2 (-)	
(参考) 19 年 8 月期	4,427		635		601		259	

《修正後》

(1) 経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年8月期第1四半期	873	(△0.1)	△4	(-)	△11	(-)	△14	(-)
19年8月期第1四半期	874	(9.3)	12	(-)	3	(-)	△2	(-)
(参考)19年8月期	4,427		635		601		259	

【定性的情報・財務諸表等】 (P3)

1. 経営成績に関する定性的情報

《修正前》

当第1四半期におけるわが国の経済は、当初限定的と見られていた米国の所謂サブプライムローン問題が次第に世界的な金融不安に拡大し、原油や穀物などの商品相場の高騰が続き、株式相場や為替動向も不安定になるなか、国内では建築基準法の改正によって新規住宅着工件数が落ち込むなど、数年間続いた緩やかな拡大傾向から一転して景況感の悪化が目立つようになりました。

こうした経営環境のもと、当社では、各地の有力百貨店へ「CYBELE&麦工房」店舗の出店を進めて参りました。当第1四半期におきましては、平成19年9月に「山形大沼店」及び「富山店」、平成19年10月には「名古屋店」と連続して出店することが出来ました。また新商品として平成19年11月に焼菓子「仕合わせのバトン」を新発売するとともに、主力のラスクでは一部店舗での限定発売としていた「ラスク メープル&くるみ」を全国発売に切り替えております。生産面では、平成19年10月にラスク専用ライン「麦工房」の増設工事が完了し、お歳暮シーズンの需要期に備えて増産体制を整えております。

これらの諸施策の結果、当第1四半期の売上高は885百万円となり、前年同期比1.3%の増収とすることができました。しかしながら、店舗の増加に伴う人件費増などから販売費及び一般管理費が増加したこと等によって、経常利益は△11百万円、四半期純利益は△14百万円の赤字となりました。

《修正後》

当第1四半期におけるわが国の経済は、当初限定的と見られていた米国の所謂サブプライムローン問題が次第に世界的な金融不安に拡大し、原油や穀物などの商品相場の高騰が続き、株式相場や為替動向も不安定になるなか、国内では建築基準法の改正によって新規住宅着工件数が落ち込むなど、数年間続いた緩やかな拡大傾向から一転して景況感の悪化が目立つようになりました。

こうした経営環境のもと、当社では、各地の有力百貨店へ「CYBELE&麦工房」店舗の出店を進めて参りました。当第1四半期におきましては、平成19年9月に「山形大沼店」及び「富山店」、平成19年10月には「名古屋店」と連続して出店することが出来ました。また新商品として平成19年11月に焼菓子「仕合わせのバトン」を新発売するとともに、主力のラスクでは一部店舗での限定発売としていた「ラスク メープル&くるみ」を全国発売に切り替えております。生産面では、平成19年10月にラスク専用ライン「麦工房」の増設工事が完了し、お歳暮シーズンの需要期に備えて増産体制を整えております。

これらの諸施策の結果、当第1四半期の売上高は873百万円となり、前年同期比0.1%の減収となりました。また、店舗の増加に伴う人件費増などから販売費及び一般管理費が増加したこと等によって、経常利益は△11百万円、四半期純利益は△14百万円の赤字となりました。

〔添付資料〕

2. (要約) 四半期損益計算書 (P 6)

《修正前》

(単位：千円、%)

科 目	前年同四半期 (平成 19 年 8 月期 第 1 四半期)	当四半期 (平成 20 年 8 月期 第 1 四半期)	増 減		(参考) 前期 (平成 19 年 8 月期)
	金額	金額	金額	増減率	金額
I 売上高	874, 105	885, 356	11, 251	1. 3	4, 427, 612
II 売上原価	460, 534	475, 596	15, 061	3. 3	2, 137, 346
売上総利益	413, 570	409, 760	△3, 810	△0. 9	2, 290, 266
III 販売費及び一般 管理費	400, 660	414, 064	13, 404	3. 3	1, 655, 183
営業利益(△営業損失)	12, 910	△ 4, 304	△17, 215	—	635, 082
IV 営業外収益	2, 652	576	△2, 076	△78. 3	8, 297
V 営業外費用	12, 517	8, 157	△4, 360	△34. 8	41, 954
経常利益(△経常損失)	3, 045	△ 11, 885	△14, 931	—	601, 425
VI 特別利益	3	8	5	162. 8	4, 413
VII 特別損失	3, 014	1, 777	△1, 236	△41. 0	123, 059
税引前四半期 (当期)	34	△ 13, 654	△13, 689	—	482, 778
純利益(△純損失)					
税金費用	2, 979	842	△2, 137	△71. 7	223, 266
四半期 (当期) 純利 益(△純損失)	△ 2, 944	△ 14, 496	11, 552	—	259, 512

《修正後》

(単位：千円、%)

科 目	前年同四半期 (平成 19 年 8 月期 第 1 四半期)	当四半期 (平成 20 年 8 月期 第 1 四半期)	増 減		(参考) 前期 (平成 19 年 8 月期)
	金額	金額	金額	増減率	金額
I 売上高	874,105	873,657	△447	△0.1	4,427,612
II 売上原価	460,534	475,596	15,061	3.3	2,137,346
売上総利益	413,570	398,061	△15,509	△3.8	2,290,266
III 販売費及び一般 管理費	400,660	402,366	1,705	0.4	1,655,183
営業利益(△営業損失)	12,910	△ 4,304	△17,215	—	635,082
IV 営業外収益	2,652	576	△2,076	△78.3	8,297
V 営業外費用	12,517	8,157	△4,360	△34.8	41,954
経常利益(△経常損失)	3,045	△ 11,885	△14,931	—	601,425
VI 特別利益	3	8	5	162.8	4,413
VII 特別損失	3,014	1,777	△1,236	△41.0	123,059
税引前四半期(当期)	34	△ 13,654	△13,689	—	482,778
純利益(△純損失)	2,979	842	△2,137	△71.7	223,266
税金費用	2,979	842	△2,137	△71.7	223,266
四半期(当期)純利 益(△純損失)	△ 2,944	△ 14,496	11,552	—	259,512

5. 生産及び販売の状況 (P 9)

《修正前》

(2) 販売実績

(単位：千円，%)

事業部門別		前年同四半期 (平成19年8月期 第1四半期)		当四半期 (平成20年8月期 第1四半期)		比較増減	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
P I S 事業部門	ラスク	353,991	40.5	361,997	40.9	8,005	2.3
	その他焼菓子等	37,956	4.4	32,547	3.7	△ 5,408	△ 14.2
	洋生菓子	7,109	0.8	12,906	1.5	5,797	81.5
	小計	399,056	45.7	407,450	46.0	8,394	2.1
M I S 事業部門	洋生菓子	118,838	13.6	108,250	12.2	△ 10,587	△ 8.9
	ラスク	87,490	10.0	100,638	11.4	13,148	15.0
	その他焼菓子等	88,348	10.1	81,568	9.2	△ 6,778	△ 7.7
	パ ン	91,870	10.5	94,841	10.7	2,971	3.2
	料 飲	88,503	10.1	92,606	10.5	4,103	4.6
小計	475,049	54.3	477,906	54.0	2,857	0.6	
合 計	874,105	100.0	885,356	100.0	11,251	1.3	

《修正後》

(2) 販売実績

(単位：千円，%)

事業部門別		前年同四半期 (平成19年8月期 第1四半期)		当四半期 (平成20年8月期 第1四半期)		比較増減	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
P I S 事業部門	ラスク	353,991	40.5	350,860	40.2	△3,130	△0.9
	その他焼菓子等	37,956	4.4	32,547	3.7	△ 5,408	△ 14.2
	洋生菓子	7,109	0.8	12,906	1.5	5,797	81.5
	小計	399,056	45.7	396,314	45.4	△2,742	△0.7
M I S 事業部門	洋生菓子	118,838	13.6	108,250	12.4	△ 10,587	△ 8.9
	ラスク	87,490	10.0	100,075	11.4	12,585	14.4
	その他焼菓子等	88,348	10.1	81,568	9.3	△ 6,778	△ 7.7
	パ ン	91,870	10.5	94,841	10.9	2,971	3.2
	料 飲	88,503	10.1	92,606	10.6	4,103	4.6
小計	475,049	54.3	477,343	54.6	2,294	0.5	
合 計	874,105	100.0	873,657	100.0	△447	△0.1	

II. 月次売上高速報値の修正

発表日：平成19年10月1日、同年11月1日、同年12月3日
 平成20年1月4日、同年2月1日、同年3月3日、同年4月1日

下線部は修正部分を表します。

【修正前】

(上段売上高：百万円、下段前年比：%)

	9月	10月	11月	1Q	12月	1月	2月	2Q	上期		
PIS事業	109	95	202	407	529	121	113	764	1,171		
	<u>111.4</u>	<u>107.2</u>	<u>95.7</u>	<u>102.2</u>	<u>101.7</u>	<u>104.5</u>	<u>104.3</u>	<u>102.5</u>	<u>102.4</u>		
MIS事業	158	166	153	477	224	161	161	547	1,025		
	<u>100.2</u>	<u>101.6</u>	<u>99.9</u>	<u>100.6</u>	<u>104.0</u>	<u>99.3</u>	<u>101.3</u>	<u>101.8</u>	<u>101.2</u>		
全社合計	267	261	356	885	754	283	274	1,311	2,196		
	<u>104.5</u>	<u>103.6</u>	<u>97.5</u>	<u>101.3</u>	<u>102.4</u>	<u>101.5</u>	<u>102.5</u>	<u>102.2</u>	<u>101.8</u>		
	3月	4月	5月	3Q	6月	7月	8月	4Q	下期	通期	当月まで累計
PIS事業	193			193					193	1,364	1,364
	<u>122.0</u>			<u>49.0</u>					<u>16.5</u>	<u>59.0</u>	<u>104.8</u>
MIS事業	233			233					233	1,258	1,258
	<u>110.2</u>			<u>40.5</u>					<u>21.2</u>	<u>59.5</u>	<u>102.8</u>
全社合計	426			426					426	2,623	2,623
	<u>115.3</u>			<u>44.0</u>					<u>18.8</u>	<u>59.3</u>	<u>103.8</u>

【修正後】

(上段売上高：百万円、下段前年比：%)

	9月	10月	11月	1Q	12月	1月	2月	2Q	上期		
PIS事業	107	90	198	396	522	117	109	749	1,145		
	<u>109.0</u>	<u>102.5</u>	<u>93.6</u>	<u>99.3</u>	<u>100.4</u>	<u>100.9</u>	<u>100.9</u>	<u>100.5</u>	<u>100.1</u>		
MIS事業	157	166	153	477	224	161	160	546	1,024		
	<u>100.1</u>	<u>101.5</u>	<u>99.8</u>	<u>100.5</u>	<u>103.8</u>	<u>99.2</u>	<u>101.2</u>	<u>101.6</u>	<u>101.1</u>		
全社合計	265	256	351	873	746	278	270	1,295	2,169		
	<u>103.5</u>	<u>101.8</u>	<u>96.2</u>	<u>99.9</u>	<u>101.4</u>	<u>99.9</u>	<u>101.1</u>	<u>101.0</u>	<u>100.6</u>		
	3月	4月	5月	3Q	6月	7月	8月	4Q	下期	通期	当月まで累計
PIS事業	188			188					188	1,333	1,333
	<u>119.0</u>			<u>47.7</u>					<u>16.1</u>	<u>57.7</u>	<u>102.4</u>
MIS事業	233			233					233	1,257	1,257
	<u>110.1</u>			<u>40.5</u>					<u>21.2</u>	<u>59.5</u>	<u>102.6</u>
全社合計	421			421					421	2,591	2,591
	<u>113.9</u>			<u>43.4</u>					<u>18.6</u>	<u>58.5</u>	<u>102.5</u>

以上